

資料 4－5

令和 7 年度大学ポートレー
ステークホルダー・ボード
令和 7 年 1 月 9 日

大学ポートレー ステークホルダー・ボード



Kanazawa Institute
of Technology
School System



*Kanazawa Institute of Technology
(KIT)*

International College of Technology, Kanazawa (ICT)



泉屋利吉
常任理事 法人部長・財務部長

梅岡 仁
企画部 企画広報室 広報課

大学ポートレートの意義



大学ポートレートの目的と重要性

透明性と信頼性の提供

大学ポートレートは教育や研究の透明性を高め、進学希望者に信頼できる情報を提供。

ブランド力の向上

大学の特色や強みを発信し、他大学との差別化と国内外での評価向上を図る。

社会的責任と連携強化

地域社会や企業との連携を促進し、産学連携や共同研究を推進する役割を果たす。

学生の進路支援

学生のミスマッチ防止に役立つ情報を提供し、適切な進路選択を支援する。

現状の課題



作業負担と情報収集の問題

多岐にわたる情報収集

教育、研究、財務、IRなど多くの部署からの情報収集が必要で調整が複雑。（BOXなどで情報共有）

作業負担の増大

データ収集や確認に多くの時間と労力がかかり、担当者の負担が大きくなっている。

入力作業の二重化

システム未連携のため同じ情報を複数回入力し、作業効率が低下している。

人的リソース不足

専門知識を持つスタッフが限られ、データの正確性や整合性の確保が困難です。（担当者→部局長→理事→公開）

大学ポートレートの更新作業について

実務的な視点から

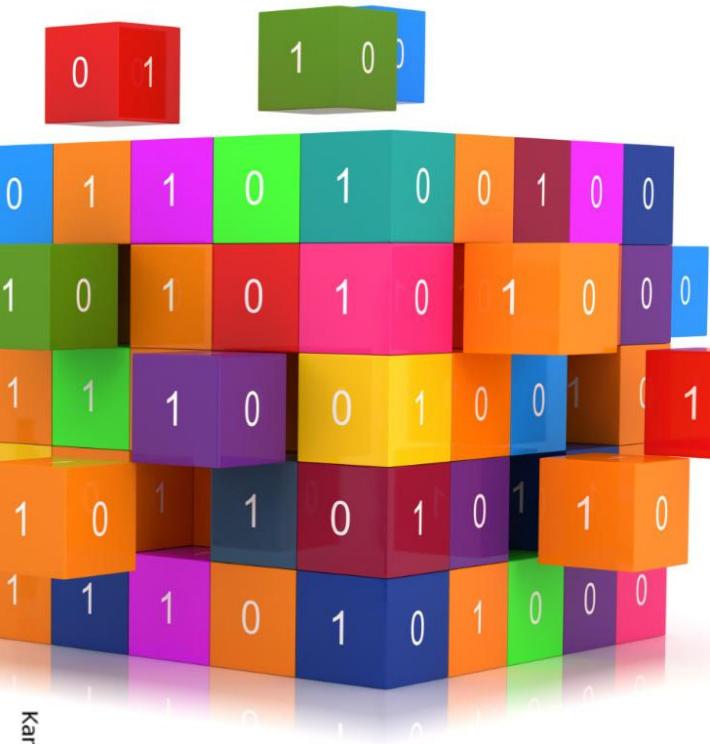
現状

- ・本学のポートレート立ち上げを担当した者が退職し、更新が途絶えていた。
- ・ポートレートの意義や目的、更新方法等の引継ぎが無いまま担当者不在となっていた。
- ・2025年4月に改組があり、最新の情報に更新するべく、学部学科名および内容を更新したのが現担当最初の作業となる。その後、ポートレートの目的や更新方法を把握し、古い画像や内容を更新している。

問題点

- ・ 実務レベルで修正・更新しても、管理者権限を持つ人が一括反映処理を行わなければ
サイトに反映されないので、修正完了したら管理者が気付く仕組みが欲しい。
(例：メールでログを飛ばす等)

その他専門的な問題点



データ整合性と評価基準のギャップ^o

データ整合性の課題

異なるシステムやフォーマットのデータ統合が難しく、IRデータの整合性確保が課題。

KPIと実績の乖離

設定されたKPIが現実の実績データと一致しない場合、大学の評価に悪影響が出る可能性がある。

外部評価基準とのギャップ

認証機関基準に沿う一方で、大学独自の特色を反映させるのが困難。

定性的情報の不足

数値中心の評価は大学の本質的価値や魅力を十分に伝えられていない。

改善提案と今後の方向性



効率化とDX化による課題解決

データ連携の自動化

API連携により学内システムとポートレートの入力作業を自動化し、作業負担を軽減します。

情報共有BOXの整備

複数部署間の調整をスムーズにし、情報収集・加筆修正等の効率を向上させる。部署間での連携強化。

専門人材の育成

データ分析に長けた人材を育成し、ポートレートの評価指標設定と品質向上を図る。データの意味と分析及びポートレートの充実化

DX化による進化

インタラクティブなダッシュボードにより、情報取得が容易になり、大学の魅力を効果的に発信します。学内での情報共有も図り、自身の大学の特徴及び強み等の理解向上を図る。（FD・SDに活用）

<https://www.kanazawa-it.ac.jp>

<https://up-j.shigaku.go.jp/school/category01/0000000387601000.html>

Thank you

